

長崎原爆資料館 被爆80年企画

原爆ドキュメンタリー上映 & トークセッション 「原爆報道のこれから」

入場
無料



11.24 月 振休

開場 | 12:30 開演 | 13:00

長崎原爆資料館ホール

長崎市平野町7-8 ※事前の申し込みは必要ありません

長崎で本格的にテレビ放送が始まったのは昭和34年(1959年)。被爆から14年後です。

以来66年…。長崎の放送局は、被爆者の声を、原爆の脅威を「映像」で伝えてきました。

被爆者が高齢化し、被爆体験の継承がますます重大なテーマとなった被爆80年の今年、長崎原爆資料館では、原爆をテーマにしたドキュメンタリー番組を特別上映するとともに、新旧番組制作者、被爆者、次世代代表によるトーク・セッションを企画しました。

これからの原爆報道、被爆地からの発信について、共に考えませんか。

Time Table

● 13:00 開会

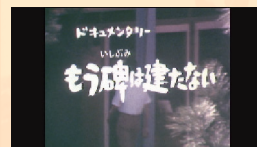
● 13:05
「もう碑は建たない」
(1975年芸術祭大賞受賞作品)

● 14:00
「夏空の灰～被爆体験者は何者か～」
(2024年民間放送連盟賞出品作品)

● 15:00
トーク・セッション「原爆報道のこれから」

● 16:00
「広島・長崎を伝えたい
ある市民ジャーナリストの軌跡」
(2006年地方の時代映像祭特別賞受賞作品)

● 16:50 終了予定



主催 | 長崎原爆資料館 (指定管理者 NBCSocia - Trustee 共同事業体)
〒852-8117 長崎市平野町 7-8 電話 095-844-1231

協力 | 長崎放送株式会社 後援 | 長崎市 長崎平和推進協会

上映会ホームページは
こちら▶

